別紙　1

平成29年9月12日
高校教育課
特別支援教育室
スポーツ健康課

弾道ミサイル発射に係るJアラート等作動時の行動

時間帯		在校中	登下校中	在宅・外出中
判断者		校長が判断	児童生徒等が判断	保護者等が判断
飛翔中	他地域の上空通過（Jアラートは作動しない）	通常通り（情報収集は行う）		
	本県の上空通過	**避難行動　①**		
落下後	日本の領海外に落下	通常生活に戻る		
	日本の領土・領海に落下	**避難行動　②**		

避難行動　①	**落下物や爆発に備えた行動例**
屋外にいる場合	・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する ・近くに適当な建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ，頭部を守る。
屋内にいる場合	・できるだけ窓から離れ，できれば窓のない部屋へ移動する。
自動車にいる場合	・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため，車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。 ・周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などがない場合，車から離れて地面に伏せ，頭部を守る。

※　在校中に「避難行動①」をとり，ミサイルが日本の領海外に落下した場合，避難行動の解除は校長が行う。

避難行動　②		**放射能等から身を守る行動例**
情報収集等		・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため，テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに，行政からの指示があればそれに従って，落ち着いて行動する。
近くに着弾	屋外	・口と鼻をハンカチで覆いながら現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
	屋内	・屋内にいる場合は，換気扇を止め，窓を閉め，目張りをして室内を密閉する。

※　在校中に「避難行動②」をとる事態となった場合，避難行動の解除は県教育委員会が行う。